
山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター センターだより 第43号（通巻第110号）

2005年11月24日 発行
山梨大学教育人間科学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp
URL: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

第3回期間採用者等研修のご案内

下記の日程で、今年度の「第3回期間採用者等研修」を実施します。次年度期間採用者を予定している学部生、卒業生など研修を受けたい方はどなたでも参加でき、受講料は無料です。関係者に広くご紹介ください。

【申し込み方法】

FAX: 055-220-8790、TEL: 055-220-8325、Web: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>、
メール: jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp のいずれかで。

日 時: 平成17年12月3日(土) 9:30~15:30 (一部 17:30)

集合場所: 山梨大学 教育人間科学部 J号館5階 A会議室

プログラム: 研 修 1 (講 演)

「教師力の向上を目指すために」

坂本 悦子氏 (前甲府南高等学校校長)

研 修 2 (体験発表と懇談)

「前年度受講生からのメッセージ」

吉田 直子氏 (竜王西小学校教諭)

松本 秀之氏 (高根中学校教諭)

邊見 千里氏 (中央高等学校教諭)

研 修 3 (校種別研修)

「児童・生徒理解と学級・ホームルームづくりの実践」

小学校教育 : 佐藤 丈氏 (高根清里小学校教諭)

中学校教育 : 田草川 淳氏 (一宮中学校教諭)

高等学校教育 : 安達 徹氏 (甲府東高等学校教諭)

特別支援教育 : 河西 慶仁氏 (双葉西小学校教諭)

特別研修 (希望者のみ)

「教育現場の今日的課題」 曾根 修一氏 (本学非常勤講師)

第4回教育臨床研究会のご案内

11月30日(水) (10:30~12:30) J号館5階多目的教室にて第4回教育臨床研究会を行います。今年度は「発達障害のある子の困り感に寄り添う支援」(佐藤暁著 学研)をテキストに、土肥満氏(山梨県教育委員会高校教育課特別支援教育担当指導主事)、竹川美佐子氏(富士川小学校教諭)を講師に迎え、実施しています。当日は資料を用意していますので、関心のある方は是非お出かけください。

地域貢献(「情報」)研修会の開催

センターでは、地域貢献事業の一つとして県内の高校で普通教科「情報」を教える先生方を支援する活動を行っており、これまで山梨県高等学校教育研究会情報科部会と連携して、「情報」担当の高校教員を対象とした研修会を年に1回ないし2回開催してきました。今年度は**12月8日(木)**(14:00~17:00)に県総合教育センターにて第1回研修会を開催します。今回は県外の高校から講師を招き、「情報」教育の実践や情報部会の活動についての県外の状況の報告と教材作成プロジェクトの紹介及びその実習を内容としています。この研修会に興味をお持ちの先生がいらっしゃいましたら、センターまでご連絡ください。

「第2回共同研究会」のご報告

実践教育運営委員会の研究プロジェクトとして平成12年から活動してきた共同研究会、合同研究会それぞれの研究成果が出されたことを受けて、昨年度、研究会について今後の在り方を検討しました。その結果、研究会を1本化し、今年度から(新)共同研究会としてスタートすることになり、現在研究テーマについて話し合っています。各附属学校からは現在のところ、教務主任の先生方4名、学部からは、前実践教育運営委員会委員長古家貴雄助教授、センター専任教員の鳥海順子教授、澤登義洋教授が参加しています。

11月15日の第2回共同研究会では、大学側から他大学における附属校との連携のパターンについて紹介し、検討しました。そして、次回(1月10日)までに本学における連携の実態について双方で調べることとなりました。現在、過去を問わず、本学と附属校との連携について情報をお持ちでしたら、センター(jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp)までお寄せくださるよう、よろしくお祈りします。その際、「関係者(関係部署)と内容」について簡単に結構ですでお知らせください。

~第4回地域貢献教育学研究会のご報告~

11月16日(水)、県総合教育センターにおいて、第4回地域貢献教育学研究会を開催しました。今回は、総合教育センター側からの情報及び研究の紹介ということで、教育相談部の太田充研修主事と情報教育部の村山孝研修主事から発表がありました。太田先生からは「教育相談部の現状を通して」ということで、教育相談部の組織・事業・基本方針及び研究・研修・相談の各3事業についての説明がありました。中でも、Q-Uアンケートの調査結果をもとにした学級集団の理解と対応についての情報や山梨大学との連携としての学校生活に活かす教育相談、そのための事例研究・事例検討の進め方についてのお話は、たいへん興味深い提案でした。村山先生からは「Web版理科実験観察指導の手引きの作成 - 理科に興味・関心を持たせ、安全な実験観察指導のために - 」ということで、理科関係の研修の現状や理科実験を中心とした研修会の受講者からのアンケート結果の紹介と、それに基づく「Web版理科実験観察指導の手引き」の概要についてお話がありました。理科実験を行う際の安全指導の重要性や危機管理に関する具体的対応も含めて話し合いが行われました。お二人の先生を含めて総合教育センターの先生方には、来年の3月に、大学の集中講義「授業研究実践論D」の講師として授業を担当していただくことになっていますので、大学生の実態や内容を学生にどのように伝えていくかについても議論を深めることができました。

